トラック輸送情報（平成１８年８月分）

平成１８年１１月１７日
国土交通省総合政策局情報管理部交通調査統計課
担当：浅見、安達　内線２８３１５
直通：０３－５２５３－８３４４
ホームページ：http://toukei.mlit.go.jp/

１．特別積合せ貨物

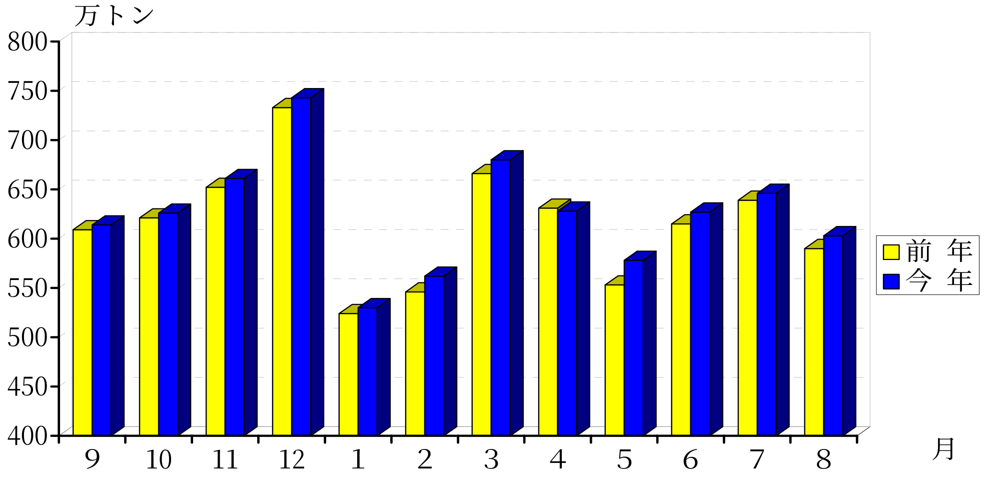
（1）本月の概況

調査対象 32 社の本月の輸送量は、6,029,571 トンで、前月と比べ、総輸送量が約 43 万トン減少したため、前月比 93.4%（季節調整済み 104.8%）、前年同月と比べ、約 13 万トン増加したため、前年同月比 102.1% の実績であった。

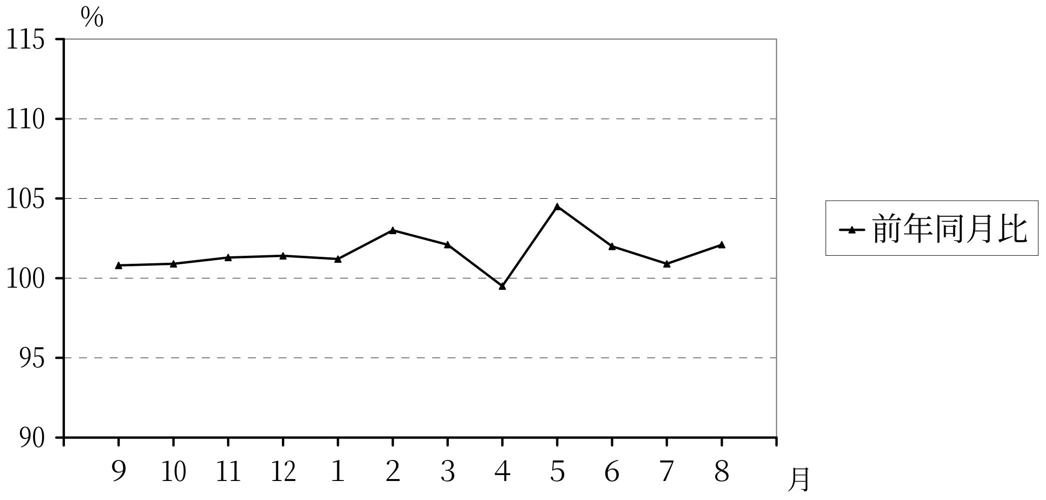
なお、平均稼働日数は 23.9 日で、前月と比べ 0.5 日の減少、前年同月と比べ 0.2 日の減少であった。稼動１日当たりの輸送量は、252,283 トンで、前月と比べ、約１万２千トン減少したため、前月比 95.4%、前年同月と比べ、約７千トン増加したため、前年同月比 103.0%の実績であった。

（図１－１、図１－２参照）

（図１－１）３２社の輸送トン数の推移



（図１－２）３２社の輸送トン数の前年同月比

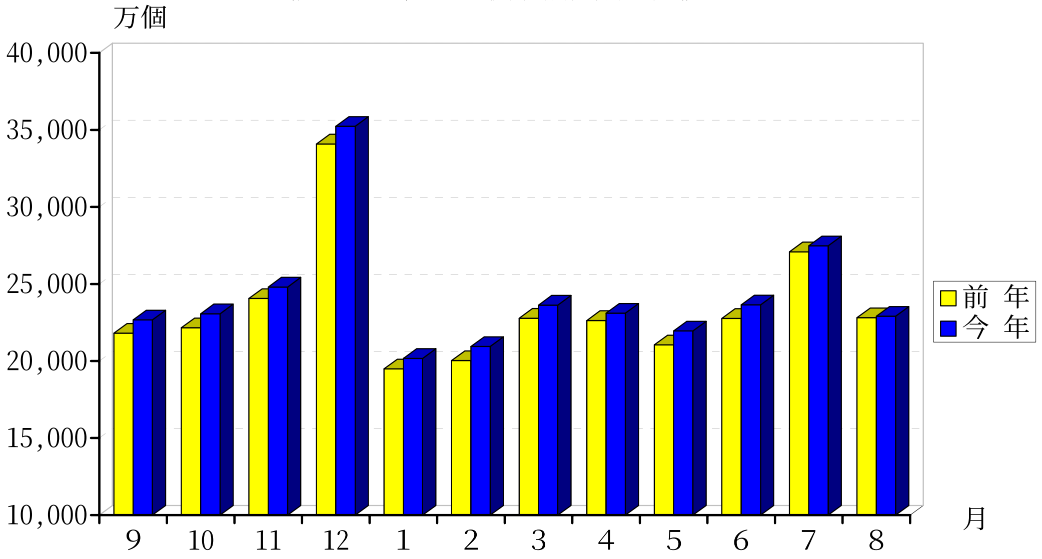


（2）宅配便の概況

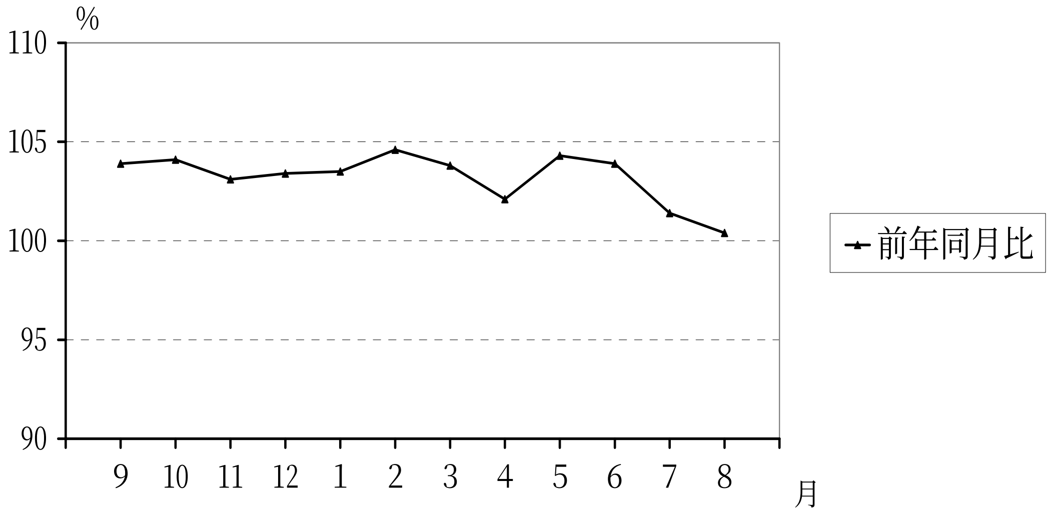
調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、229,068 千個で、前月と比べ、約 4,571 万個減少したため、前月比 83.4%（季節調整済み 101.9%）、前年同月と比べると、約 93 万個増加したため、前年同月比 100.4%の実績であった。

（図２－１、図２－２参照）

（図２－１）宅配便取扱個数の推移



（図２－２）宅配便取扱個数の前年同月比



（3）品目別及び地域別輸送状況（表１参照）

前月と比べると、お中元期が終了したことやお盆休み等の影響によって、全般的に貨物量が減少した。理由としては、工場・生産地からの貨物減と季節的需要減であった。また、その他（宅配便、百貨店配送品）は、デパート・スーパーからの貨物減であった。地域的には、繊維工業品が神奈川で増加した。一方、金属製品は中国で、機械は東京、関東、北陸信越、愛知、大阪で、食料工業品は神奈川、関東、中部を中心にそれぞれ減少した。また、日用品及びその他においては全国的に減少した。

前年同月と比べると、金属製品、機械及び日用品において、景気の好況による貨物増があった。また、食料工業品は、工場・生産地からの貨物増があった。地域的には、金属製品及び機械が神奈川、愛知、近畿地方で、化学工業品が兵庫で、食料工業品が東京、関東、愛知、大阪、兵庫で、日用品が北海道、神奈川で、その他が大阪を中心にそれぞれ増加した。一方、農水産品及び繊維工業品が東北、関東を中心にそれぞれ減少した。また、その他においては全国的に減少した。この結果、全体としては、対前年同月比 102.1%となった。

（表１）品目別増減状況（回答事業者数　３２社）

	品目	増減事業者数 著増	増	変らず	減	著減	主な増減品目（上段が増加・下段が減少）	主な増減地域（上段が増加・下段が減少）	※増減要因
前月に比べて	農水産品		1	12	3	2			
							野菜、青果物	東北、関東	4
	金属製品		1	21	5				
							その他の金属製品	中国	4，8
	機械		1	19	7				
							その他の機械、機械部品	東京、関東、北陸信越、愛知、大阪	4，8
	化学工業品	1	2	22	5				
							その他の化学工業品		8
	繊維工業品		2	23	4			神奈川	
							織物		
	食料工業品			21	6				
							加工食品	神奈川、関東、中部	4，8
	日用品			18	11				
							書籍・印刷物、その他の日用品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州	4，5，7
	その他		1	15	8	4			
							宅配便、百貨店配送品	神奈川、関東、全国	2
前年同月に比べて	農水産品		1	14	3				
							青果物	東北、関東	
	金属製品		4	19	3	1	その他の金属製品	神奈川、愛知、近畿地方	9
							その他の金属製品		
	機械		4	20	2	1		神奈川、愛知、近畿地方	9
	化学工業品	1	4	20	5		その他の化学工業品	兵庫	
	繊維工業品		2	24	3				
								東北、関東	
	食料工業品	1	5	18	3		飲料、その他の食料工業品	東京、関東、愛知、大阪、兵庫	4
	日用品		5	17	6		その他の日用品	北海道、神奈川	5，9
							その他の日用品		
	その他		3	16	9			大阪	
							宅配便	関東、全国	

（注）　「主な増減地域」については、１６地域［全国、６大都府県（東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡）及び地方運輸局（６大都府県を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む）］単位である。なお、地方運輸局に６大都府県を含む場合は「～地方」と表記した。

※増減要因	１．新規荷主獲得（荷主契約解除）	６．倉庫へ入る貨物増（減）
	２．デパート、スーパーの貨物増（減）	７．倉庫から出る貨物増（減）
	３．他機関から貨物が来た（へ流れた）	８．季節的需要増（減）
	４．工場・生産地からの貨物増（減）	９．景気の好況（不況）
	５．商社・問屋からの貨物増（減）	１０．その他

２．　一般貨物

（1）本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数853社／調査対象事業者数1,090社）の輸送量は、前月比98.3%、前年同月比102.0%であった。

（表２）地方運輸局別　前月比・前年同月比

	全　国	北海道	東　北	関　東	北陸信越	中　部	近　畿	中　国	四　国	九　州	沖　縄
前　月　比	98.3%	99.9%	97.9%	96.9%	99.5%	95.8%	99.2%	98.7%	95.9%	100.0%	93.7%
前年同月比	102.0%	98.3%	100.6%	104.2%	100.0%	111.4%	103.1%	103.7%	100.1%	102.0%	103.4%

（2）本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	本月の輸送は、対前月比は99.9%、対前年同月比は98.3%であった。品目別には、好天に恵まれ気温が高かったため、「食料工業品（飲料等）」の輸送量が増加し、また「野菜・果物」、「その他の農産品」、「輸送用容器」の輸送量も増加した。一方、「穀物」、「石炭」、「砂利・砂・石材」、「その他の石油製品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しとしては、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。
東北	本月の輸送は、対前月比97.9%、対前年同月比は100.6%であった。品目別には、夏期農作物の収穫の時期に入り、季節的な需要も多い「野菜・果物」、「食料工業品」等の輸送量が増加した。一方、「取り合せ品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しとしては、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。
関東	本月の輸送は、対前月比96.9%、前年同月比は104.2%であった。品目別には、季節的需要増により、「野菜・果物」、「日用品」の輸送量が増加した。一方、「紙・パルプ」、「その他」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しとしては、次月及び以降ともに横這い傾向と予想される。
北陸信越	本月の輸送は、対前月比99.5%、対前年同月比は100.0%であった。品目別には、季節的需要増により、「その他の窯業品」、「その他の製造工業品」等の輸送量が増加し、また、「鉄鋼」、「非鉄金属」、「その他の石油製品」の輸送量も増加した。一方、建設関係の需要減により「砂利・砂・石材」の輸送量が減少し、その他、「穀物」、「その他」等の輸送量も減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。
中部	本月の輸送は、対前月比95.8%、対前年同月比は111.4%であった。品目別には「その他」の輸送量が増加した。一方、「機械」、「その他の化学工業品」、「紙・パルプ」、「繊維工業品」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。
近畿	本月の輸送は、対前月比99.2%、対前年同月比は103.1%であった。品目別には、建設関係の需要増により「砂利・砂・石材」の輸送量が増加した。一方、「食料工業品」、「日用品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに横這い傾向と予想される。
中国	本月の輸送は、対前月比98.7%、対前年同月比は103.7%であった。品目別には、建設関係の需要増により「砂利・砂・石材」の輸送量が増加した。一方、「鉄鋼」、「金属製品」、「機械」、「その他の窯業品」、「その他の化学工業品」、「紙・パルプ」、「日用品」、「その他の製造工業品」、「その他」等の輸送量が減少した。これら多数の品目は、荷主の盆休みの影響で、減少したと思われる。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。
四国	本月の輸送は、対前月比95.9%、対前年同月比は100.1%であった。品目別には、季節的需要増により「食料工業品」の輸送量が増加し、その他により「水産品」、「機械」、「揮発油」、「動植物性飼・肥料」の輸送量も増加した。一方、建設関係の需要減により「砂利・砂・石材」、「セメント」の輸送量が減少し、その他、「穀物」、「野菜・果物」、「紙・パルプ」の輸送量も減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
九州	本月の輸送は、対前月比100.0%、対前年同月比は102.0%であった。品目別には、季節的な需要増により、「穀物」、「野菜・果物」、「機械（エアコン）」、「食料工業品」、「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加し、その他「砂利・砂・石材」、「廃棄物」等の輸送量も増加した。一方、減少した品目は、建設関係の需要減により「セメント」が、製紙工場の出荷の減少により「紙・パルプ」が、その他「水産品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しについては、次月及び以降ともに横這い傾向と予想される。
沖縄	本月の輸送は、対前月比で93.7%、対前年同月比は103.4%であった。品目別には、輸出の増加により、「金属くず」（スクラップ等）の輸送量が増加した。一方、天候不良（台風）による影響で、「取り合せ品」（引っ越し荷物）・「野菜・果物」（ゴーヤー等）・「食料工業品」（ビール・清涼飲料水）、「その他」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。

（3）運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目＼運輸局		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
1. 穀物	増	1	1						1	4		7
	減	3	2		2				2	1		10
2. 野菜・果物	増	3	4	2	2				1	3		15
	減				3				2	2	1	8
3. その他の農産品	増	4	1							1		6
	減	3										3
4. 畜産品	増							1				1
	減											
5. 水産品	増	2	1						1			4
	減	3	1	1						2		7
6. 木材	増	3			2					2		7
	減	3			1			1		1		6
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増				1							1
	減	2			1							3
9. 金属鉱	増											
	減											
10. 砂利・砂・石材	増	8	1				2	5		7		23
	減	11			3				1	4		19
11. 工業用非金属鉱物	増	1	3					1				5
	減		2		1							3
12. 鉄鋼	増		1		3							4
	減	1	2	1	1		1	3		1		10
13. 非鉄金属	増				2							2
	減		1				1					2
14. 金属製品	増			1			1			1		3
	減		1	1	1		1	2		1		7
15. 機械	増	1		3	2		2		1	3		12
	減	1	1	2	1	1	2	2		1		11
16. セメント	増	1	2		3			2		4		12
	減	2	2		2			2	2	6		16
17. その他の窯業品	増		2		4					2		8
	減	1	1		1		1	2				6

品目 ＼ 運輸局		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
18. 揮発油	増			1	1				1			3
	減											
19. その他の石油製品	増		1		2			1		1		5
	減	3	1					1				5
20. コークス・その他の石炭製品	増	1										1
	減				1							1
21. 化学薬品	増											
	減				1							1
22. 化学肥料	増	1	1		1							3
	減											
23. その他の化学工業品	増						1					1
	減					1	1	4				6
24. 紙・パルプ	増		1		1		1			1		4
	減	1	1	2		1	1	2	1	3		12
25. 繊維工業品	増											
	減		1			1	1					3
26. 食料工業品	増	4	6	1	1		1	3	3	4		23
	減		1	1	1		2	3	1	1	2	12
27. 日用品	増			3	1	1				2		7
	減	1		1		1	2	3		1		9
28. その他の製造工業品	増				3			2	1	2		8
	減					1	1	4	1	2		9
29. 金属くず	増										1	1
	減											
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	1		1					1	3		6
	減	2		1						1		4
32. 廃棄物	増	1			1	1				6		9
	減	1	1	1	1	1				2		7
33. 輸送用容器	増	1							1	1		3
	減		1						1			2
34. 取り合せ品	増									1		1
	減		2								2	4
35. その他	増				1	2	2	1	1			7
	減			2	3	1	2	3		1		12